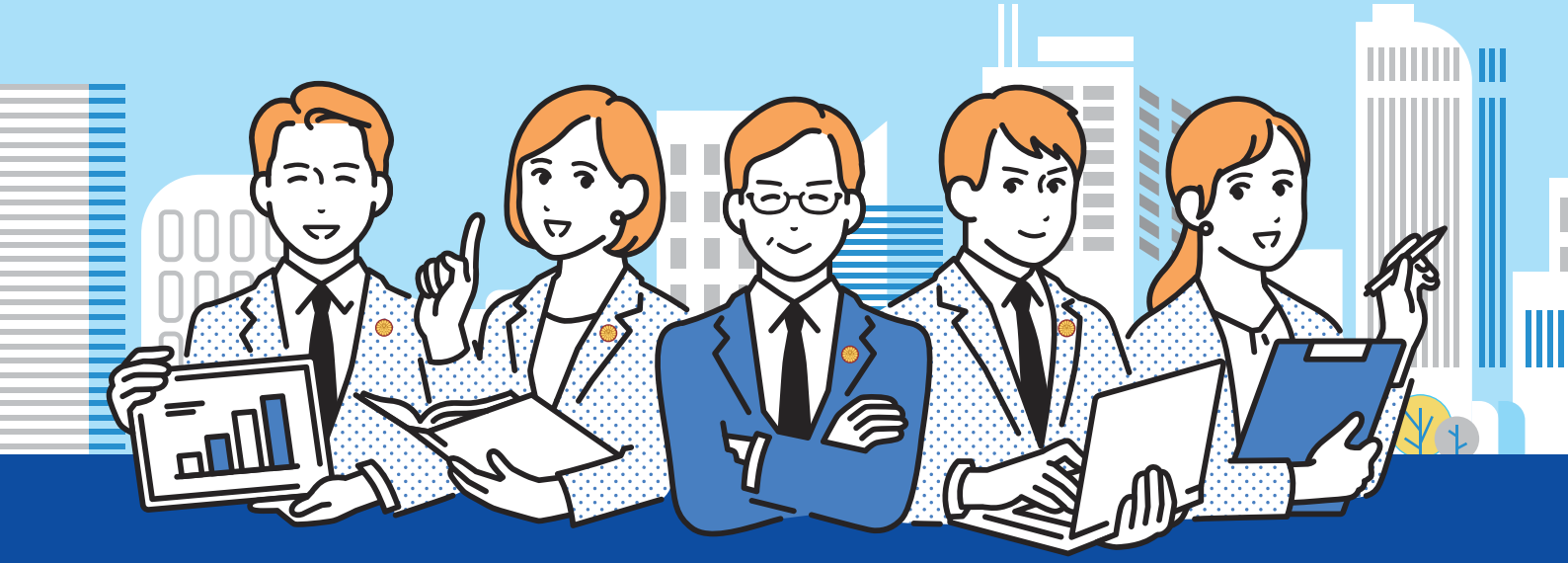


知的財産経営コンサルティングは弁理士にご相談ください

弁理士バッジが目印です！

弁理士が「知的財産経営コンサルティング」で役に立つ理由

弁理士は、特許や商標を取得するだけでなく、それらを企業の強みとして経営にどう生かすかを支援する専門家です。
例えば、
・自社の技術のどこに強みがあるのか
・どの技術を守るべきか
・どうすれば市場で差別化できるのか
・知的財産をどう事業成長につなげるのか
といった課題に対し、技術と経営の両面から実践的な支援を行います。

「知的財産経営」とは

「知的財産経営」とは、知的財産を事業戦略の一つの柱に据え、知的財産を継続的に創出・保護・活用する仕組みを構築し、長期に渡り知的財産を顧客への訴求力と市場での差別化に戦略的に活用する経営形態です。

JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION
JPAA 日本弁理士会

日本弁理士会事務局　経営・支援室
〒100-0013　東京都千代田区霞が関 3-2-6　東京倶楽部ビルディング 14 階
TEL：03-3519-2709
メールアドレス：keiei@jpaa.or.jp

知的財産経営コンサルティング の例示

01 自社の知財経営の現在位置

まず「自社に何があるか」を明確化する



知財調査

- 個別案件の調査
- 知的財産の調査
- 知財調査体制の構築

知財発掘・分析

- 知的財産の発掘
- 強み（コアコンピタンス）の明確化
- IP ランドスケープ

02 知財網の構築

知財を守る



権利取得

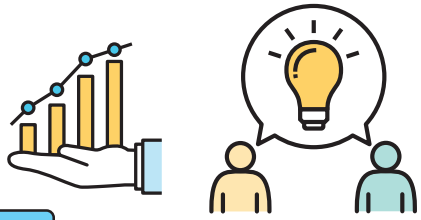
- 個別案件の出願支援
- 出願戦略の立案

リスク対応

- 個別案件の鑑定支援
- 秘密管理体制の構築
- 職務発明規程の整備
- 知財関連契約の整備

03 事業戦略を見据えた知財活用

知財を利益に変える



事業戦略

- 知財経営戦略の立案
- 知財を活用したビジネスモデルの立案
- ビジネスモデルを考慮した知財活用方法の提案
- 知財情報を活用した事業戦略の検討
- 新製品開発での知財活用
- オープン＆クローズ戦略
- 知財ミックス戦略

マーケティング・ブランド

- ブランド戦略
- マーケティング戦略への知財情報の活用
- 自社の広告宣伝

連携・市場形成

- 標準化
- オープンイノベーション

04 知財を活用するための組織作り

継続的に知財経営を回す基盤づくり



- 知財管理体制の構築
- 知財人材の育成
- 顧問契約による伴走支援

05 経営成果・企業成長

知財経営によって得られる成果



収益拡大

- 売上拡大
- 利益率向上
- 市場シェア拡大
- 市場規模拡大
- 販路拡大

企業変革

- 新事業創出
- ビジネスモデルの更新
- 下請け脱却

企業価値向上

- M＆A、事業承継の支援



日本弁理士会では、知的財産経営コンサルティングとして
「弁理士知財キャラバン」を行っております。
詳しくは以下の URL をご確認ください。
https://www.jpaa.or.jp/activity/caravan/

JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION
JPAA 日本弁理士会

日本弁理士会事務局　経営・支援室
〒100-0013　東京都千代田区霞が関 3-2-6
東京倶楽部ビルディング 14 階
TEL：03-3519-2709　メールアドレス：keiei@jpaa.or.jp